



第46号

新林社会福祉協議会

編集 広報委員

「福祉コミュニティ」

新林小学校

教頭 太田 隆司



新林小学校地域の皆様、日頃より新林小学校の教育ならびに取組に対し、ご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。

昨今、少子化や高齢化社会という時代の背景を垣間見るニュースなど、これからの地域社会に不安を持たれる方も私を含め、少なくないのではないかと感じています。子どもたちの声が消えることなく、そして、地域の活性化を図るためには、人々を元気にする知恵や経験などを豊富に持たれる地域の方々や、高齢者の皆様のお力が必要だと感じております。実際に、新林小学校の子どもたちも、昔の遊び体験や福祉体験を通して多くのことを学んでいます。地域社会を取り巻く環境

は大きく変化しています。地域社会での支え合い活動の取組みはますます増大していくものと思います。こうした状況にあつて、社会福祉協議会を中心とした身近な地域で見守る仕組み、地域で市民が互いに支え合う仕組み(互助)、地域の課題を掘り起こす仕組みづくりが継続的に進み、そして、福祉コミュニティの形成が更に発展していくことを願っています。

新林小学校としても、今後も、社会福祉協議会への公益的性格に鑑み、積極的に地域社会へ貢献してまいります。

「だれもが心の豊かさ幸せを実感できる福祉のまち新林をめざして」教職員も一丸となり、なお一層の地域福祉の推進に努めてまいります。今後も皆様の温か

敬老のつどい

いご支援とご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

お年寄りの健康と長寿を祝す「敬老のつどい」が9月11日(月)午前10時から京都エミナースにて、多くの参加者(約120名)のもと開催されました。

来賓の方々からは、戦後の混乱期から今日の経済大国への基礎を築いて下さった高齢者の方々に對する敬意と感謝の言葉があり、「これから健康で御活躍願



たい」等のあいさつがありました。

食事の前には、お祝いの舞や、ハーモニカ演奏、京都府警音楽隊による演奏とカラーガード隊の演技を鑑賞しました。

食事は、お刺身、お肉、野菜の煮もの等品数も多く、それぞれのテーブル毎に、ご近所同士歓談され、なごやかな雰囲気の中、時が過ぎ午後1時30分頃終了致しました。

今年の「敬老のつどい」は、40周年の節目に当たり、地域の皆様のご協力により、盛大に実施できました。あらためて感謝致します。



秋のティータイムコンサート

さわやかな秋のそよ風に乗りグラウンドまで歌声が届きそうな、11月5日午後1時30分から約1時間、新林小学校体育館を会場に、お年を重ねた方々と家族等(64名)を対象に「ミニライブコンサート」が開かれました。

歌手 北山眞路子さん、



ピアノニスト 永松千佳さんをお招きし、コーヒー(紅茶)とケーキを前に、素晴らしい歌声が体育館内に響きました。

シャンソンコンサートとの事前案内でしたが、曲目は「枯葉」「糸」「雪が降る」「さらばシベリア鉄道」「百万本のバラ」等、トークを交えた70年代から80年代のヒット曲を中心とした構成。

シャンソンのジャンルを超え、アンコールの声の中、全11曲を熱唱していただき、終演となりました。

なお、今回も新林小学校体育館等会場提供をして下さった、藤田校長先生をはじめ関係者の皆様方には、ご協力に感謝致します。ありがとうございました。



視覚障害者にやさしい点字ブロック 横断歩道の設置

視覚障害者の人達に対する道路横断時の安全対策として、黄色の点字ブロックや音声スピーカー設置は、横断歩道の手前等でよく見かけますが、交差点等の車道を横切る横断歩道上にこの点字ブロックが設置されている箇所は、まだ多くありません。視覚障害者の方が横断中でもこの点字ブロックの誘導があれば、より安全に道路を横断することが出来ます。

今回新しく(平成29年)境谷本通りと福西東通りの交差点(京都生協コープ洛西の南側)の一部と境谷大橋東詰交差点の一部に、点字ブロック付横断歩道が設置されました。

付近には、視覚障害者支援施設洛西寮もあり、この横断歩道は安全面で非常に効果的であり、これからも点字ブロック付横断歩道の普及が望まれます。



子育てサークル 「たんぼぼ」

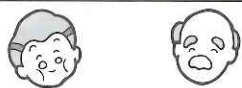
乳幼児と保護者の方々が一緒になって、楽しく過ごす居場所として、又、お母さんたちの友だち作りの場として、毎月第三木曜日に、新林小学校にあるコミュニティルームで行っています。この活動は、地域の活性化を鑑み、子育てネットワークの一環として、新林社会福祉協議会がおこなっているものです。

日々の生活の中のリズムとして、乳幼児のおられる方々に定着しています。洛西支所の保健センターでの活動を知り、新しく参加される方もあり、毎回参加者が多く親子で楽しんでいただいています。西京消防署の方から、急な病気や怪我の対処についてお話しを頂いたりもしています。毎月12月にはクリスマス会として、サンタクロースに扮したボランティアさんからのお話や、サンタさんレゼントや、サンタさんと携帯で写真を撮ったり、にぎやかです。今年の冬はインフルエンザの流行がありましたので、アンパンマンの絵柄のついたマスクを紹介し、「マスクデビュー」してもらったりもしました。

会場が小学校でするので、休み時間に小学生たちが小さい子供と遊んでくれたりも、ほほえましい場面も見受けられます。地域のために会場を快く使わせて頂いている、コミュニティ管理の方や藤田校長先生に感謝申し上げます。これからも新林の子供のためにもよろしくお願いいたします。

12月16日(土)午後1時から、お一人暮らしの高齢者さまに毎年実施しています「缶入りパン」(写真)を配布しました。聞けば毎年楽しみにされ、食わずに保管(未開封5年間保存可能)されている方もいました。この日は朝から寒い日でしたが、玄関口でみなさま笑顔でお受け取り下さり、この小さな温かい活動がこれからも続くようお願い思いました。

ふれあい 缶入りパンの配布



「視覚障害のある方」を知る 体験講座

平成30年2月3日(土)午前10時から12時まで新林会館第1会議室に於いて、視覚障害のある松永信也先生の生活体験を述べていただきました。この講座は視覚障害の方を支援するボランティアを募集育成することが大きな目的の一つです。残念ながら、会場受講者は少数でしたが、松永先生の視覚障害の方への支援を願う熱い思いが伝わりました。

講座内容は視覚障害者体験として、視覚という情報が入らない世界を知るため、一時的に参加者に「目隠し」や視野を狭くした「眼鏡」を着用し、障害物をよける歩行体験、障害者に対し歩行支援する場合の歩行訓練が実施され、参加者も視覚障害の困難性を痛感しました。この活動は今後も継続されます。



平成29年最後の 「こでまり」サークル

12月16日(土)午後1時から、お年を重ねた人達35名が新林会館に集まり、平成29年最後の「こでまり」サークルが実施されました。この日の活動は、平成30年の干支である「犬の置物」の製作とパソコンを使った器用に指先を動かしながら、会話を楽しみ、心のこもったかわいいたかの置物や年賀状ができていました。写真は、完成前と完成後の犬の置物。



布団クリーニング サービスの実施

10月18日(水)一人暮らしの高齢者の方、障害の方がおられる家庭を対象に布団クリーニングサービスを実施いたしました。朝、業者の方と対象の高齢者等がおられるご家庭の玄関先に回収に伺い、その日の夕方にはクリーニングし、暖かく仕上がった布団をお届けいたしました。今年度は、52軒の申し込みがあり、皆様には大変喜んでいただきました。

ご利用者様の声

毎年「布団丸洗い」を利用していただいています。集配していただき、暖かい布団に「フアフア」普段家庭では出来ない事だと思っております。明るい笑顔で、キビキビとすべての事に感謝しております。ありがとうございます。H.Yより

係からの言葉

庶務係

昨年度は、記録係、今年度(H29)は、庶務係として2年間お手伝いさせていただきました。

訂正とお詫び

前号、ボランティア「なごみの会」氏名に誤りがありました。加藤絹子を正しくは、加地絹子に訂正し、お詫びいたします。



社会福祉協議会への賛助金
ご協力ありがとうございました